

# 第2学年 算数 科学 習 指 導 案

日 時： 平成17年10月18日（火）

第5校時（13:45～14:30）

場 所： 日和田小学校 2年教室

授業者： 新 屋 幹 男

## 1. 単元名 『⑩ かけ算』

## 2. 単元の目標

- (1) 乗法の意味を知り、日常生活において適用しようとする意欲をもつ。
- (2) ある数量の大きさを、基準とする大きさのいくつ分としてとらえることができ、乗法の意味を理解する。
- (3) 乗法の式表示や用語について理解する。
- (4) 2の段、5の段、3の段、4の段の九九の構成しかたや唱え方を知り、乗法九九を適用して問題を解決することができる。
- (5) 「ばい」という用語と意味を理解し、用いることができる。

## 3. 指導の立場

つきたい力	児 童 の 実 態
課題を的確に捉える力	・問題から式化したり筆算の形に表したりすることを通して前時との違いを把握しそのことを自分たちの言葉で課題化することが出来るようになってきた。
既習事項を生かして解決していく力	・ひき算の筆算の学習では、位取り表の○印を操作することによって「くり下がり」の意味とくり下がり方が分かり次の学習に生かすことができた。
自分の考えを表現する力	・ノートや黒板に表示した自分の考えを、「はじめに」「つぎに」などの用語を用いながら分かりやすく説明することができるようになってきた。
仲間の考えを読み取る力	・仲間の発表に対しては必ず感想を言うことができ、態度面ばかりでなく算数的良さについても少しだけ言うことができるようになってきた。
分からなかったことが分かる力	・理解力については3人三様である。分からなくても何とかして解決しようと、粘り強く取り組むことができる。教え合いの仕方を身に付けるようにしたい。

## 4. 単元について（本単元の構成と『学習指導要領』との関連）

〈A（3）〉 乗法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。

ア 乗法が用いられる場合について知り、それを式で表したり、その式をよんだりすること。

イ 乗法に関して成り立つ簡単な性質を調べ、それを乗法九九を構成したり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

ウ 乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできること。